



外国出張報告書

平成 26 年 12 月 22 日

1. 出張国名 フィリピン
2. 出張月 平成 26 年 11 月
3. 出張目的 アイゴのチキンミール利用性に関する飼育試験の中間体側の実施：C

4. 成果の概要

アイゴにおける家禽加工残滓（＝チキンミール）の利用性に関する飼育試験の 24 日後における中間体測を継続して実施した。前回出張では、飼育試験開始直後に帰国したが、帰国直後に試験魚の大量斃死が発生したため、実験規模を 1 水槽 24 尾ずつ、1 飼料 3 水槽から 1 飼料 2 水槽に縮小せざるを得なくなった。しかし、その後は斃死もなく順調に推移している。成長の経過についても、各指標の値の標準偏差がやや大きい、顕著な区間差もなく家禽加工残滓の飼料原料の有効性が推察された。

また、アイゴの飼育成長試験を行うのは今回が初めてであるが、これまで実施経験があるマダイ、ブリなどに比べて成長が遅いと思われた。